

光星男女とも全国へ 女子は柴田V

全国高校バスケット

青森県予選

敗れ、準優勝だった。ウインターカップは12月23日、29日に東京都で開かれる。青森県からは八学光星の男女と女子の柴田が出場する。

【男子】

青森山田	93	81	柴田	67	62	工大	61
------	----	----	----	----	----	----	----

▽決勝

【女子】

八学光星	99	26	20	16	青森山田	24	29	24	14
------	----	----	----	----	------	----	----	----	----

▽準決勝

柴田	94	17	14	57	八学光星	24	14
----	----	----	----	----	------	----	----

▽決勝

柴田	84	64	弘前実業	96	52
----	----	----	------	----	----

▽準決勝

八学光星	21	27	25	17	23	16
------	----	----	----	----	----	----

堅守速攻堂々連覇 男子 光星

ハイライト

圧巻のスピードバスケット



【男子決勝・青森山田－八学光星】第2クォーター、八学光星は上山琉生（中央）がシュートを決め、44－30とするニスポーツプラザ藤崎

組織的な守備が光った。3点シュートが得意な相手選手を徹底マーク。ミスシュートを誘った上で一気に攻撃に転じた。司令塔役のポイントガードを務めた上山琉生は「手を広げて外角のシュートを打たせない守りを最優先にできた。ドライブで突破された時は、カバリングができていた」と胸を張った。

現チームは県新人戦、県高校総体と、あと一歩で頂点に届いていなかった。勝負の秋に備え、練習ではリバウンドとリバウンドの確保に注力。今大会はその成果を存分に発揮した。佐々木

（上村公愷）



【女子決勝・柴田－八学光星】第2クォーター、八学光星は北上陽菜（右）がシュートを決め、23－23とする

速攻に対応できず 光星女子力負け

○女子決勝では、八学光星が今夏のインターハイ8強の柴田に力負けし、県高校総体と同じ準優勝。第2クォーター途中まではリードをしていたが、徐々に足が止まり、相手の速攻に

対応できないままリードを広げられた。19得点と気を吐いた北上陽菜は「攻守の切り替えが遅かった。リバウンドでも負けていた」と反省した。

今夏の東北高校選手権で柴田が頂点に立ったことで、今回、女子の全国選手権の出場枠が本来の「1」

から「2」に増えた。3年ぶりの優勝には届かなかったが、通算3度目の全国切符は確保できた。

副島紗和主将は「全国レベルの相手にも走り負けないようにする。まずは1勝を目指す」と、本番までのさらなるレベルアップを誓った。